

## 令和3年度コンプライアンス推進計画の進捗について

令和3年度コンプライアンス推進計画（令和3年3月23日付け2農畜機第7101号。以下「推進計画」という。）に基づく取組の進捗は、以下のとおり。

### 1 コンプライアンス推進週間の取組（推進計画2の4）

役職員が日々の行動を振り返り、コンプライアンスへの理解を深める機会として、上期及び下期の年度内2回のコンプライアンス推進週間を設置し、各種取組を行うこととしている。

令和3年度のコンプライアンス推進週間の実施状況は、以下のとおり。

#### (1) 実施期間

ア 上期：令和3年5月31日（月）～6月8日（火）

イ 下期：令和3年10月25日（月）～11月2日（火）

#### (2) 取組内容

##### ア 教育資材の視聴

役職員のコンプライアンスに関する知識を深めるため、教育資材を視聴させた。形式については、COVID-19感染防止のため、前年度同様オンライン研修とした。

	対象者	教育資材
上期	役職員 261 名※	①「声をあげないことがハラスメント」 （あかるい職場応援団） ②「利害関係者からの対応接待」 （国家公務員倫理審査会） ③「利害関係者からの物品の受領」 （国家公務員倫理審査会）
下期	役職員 260 名※	「国家公務員倫理の基本」～制度解説編～ （国家公務員倫理審査会）

※ 臨時職員を含み、休職中の職員及び外部組織への出向・研修中の職員を除く。

##### イ コンプライアンスチェック（○×式10問）

役職員のコンプライアンスに関する理解度を点検するため、事務局採点方式によるコンプライアンスチェックを実施した。

##### ウ コンプライアンスカードの配付

上期はテレワークを実施する際の留意事項を、下期は「私のコンプライアンス推進宣言」をそれぞれテーマとしたカードを作成し、役職員に配布した。職員自身が日々実践したいコンプライアンス推進の取組を記入できるようカード裏面に記入欄を設けた。

## エ キャッチフレーズの募集

役職員がコンプライアンスについて身近に考える機会として、上期にコンプライアンスに関するキャッチフレーズを募集した。64作品の応募があり、選定の結果、コミュニケーション不足による仕事の行き違いを防ぐためにも、意識して一声かけるとの趣旨から、次の作品を令和3年度最優秀賞とした。最優秀賞の作品については、コンプライアンス推進週間のポスターやイントラネットに掲載し、役職員の意識啓発に活用した。

## 画面越し マスク越しでも 一声を

## オ その他

各部室・事務所における啓発ポスターの掲示及びコンプライアンス推進週間初日の館内放送により、コンプライアンス推進週間の周知及びコンプライアンス推進に対する役職員の意識啓発を図った。

### 2 コンプライアンスに関するアンケート調査（推進計画第2の2）

前年度に実施したコンプライアンスに関する認識度調査の結果を踏まえた対応をフォローアップするとともに、直近半年間におけるコンプライアンス関係の問題等の有無を把握するため、上期においてアンケート調査を実施した。また、管理職を対象に風通しの良い職場づくりのための自己点検を実施した。（1）新規採用職員等に対する研修（随時）

### 3 コンプライアンスの推進に関する研修（推進計画2の5）

- （1）新規採用職員等に対する研修（随時）
- （2）新任管理職員に対する研修（随時）
- （3）役職員に対するeラーニング研修（令和3年7月26日～8月24日）  
「納得！実践！個人情報保護」（関西ビジネスインフォメーション株）

### 4 コンプライアンスに関する認識度調査（推進計画2の3）

機構におけるコンプライアンスの推進状況を点検するとともに、管理職員と管理職員以外の職員（以下「非管理職」という。）との間のコンプライアンスに関する認識のずれ等を把握するため、職員を対象にコンプライアンスに関する認識度調査を実施した。

- （1）実施期間：令和3年11月30日（火）～12月9日（木）
- （2）対象者：職員244名（臨時職員を含む。）

注 総括調整役、休職中の職員及び外部組織への出向・研修中の職員を除く。ただし、部長を兼務する総括調整役は実施対象とする。

- （3）実施方法：調査票による無記名アンケート

5 コンプライアンス推進相談等窓口の運営状況（推進計画1の3）

(1) コンプライアンス推進相談等窓口（以下「窓口」という。）の周知

ア 窓口の利用実績及びリーフレット・相談事例を四半期末月の翌月（4月、7月、10月及び1月）に電子メールにより機構内に周知した。

イ イン트라ネットのコンプライアンスコーナー、コンプライアンス推進週間の周知メール、コンプライアンスカード及び各部室等に掲載するポスターに窓口の連絡先を掲載した。

ウ 1(2)のコンプライアンスに関するアンケート調査結果及び1(4)のコンプライアンスに関する認識度調査のフィードバックにおいて、コンプライアンスの推進を妨げる事象がある場合は窓口相談を促した。

エ このほか、新規採用職員等に対するコンプライアンス研修において、窓口を紹介した。

(2) 窓口の利用実績（令和3年4月～同4年2月）

ア 内部相談窓口：8件（うち6件は倫理関係の相談）

イ 外部相談窓口：0件

[参考] 令和2年度（令和2年4月～同3年3月）

内部相談窓口：8件（うち3件は倫理関係の相談）

外部相談窓口：1件